

おしっこの回数が
増えたのは尿石症が
原因かもしれません。



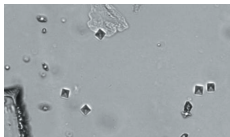
尿石の有無や尿路感染症を調べる検査をご紹介します。

遠心分離した尿の沈殿物を観察する検査

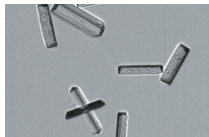
尿沈渣分析

どんな検査ですか？

- 尿中に結晶、円柱、細菌、血球、細胞等が存在するかどうかを、顕微鏡で確認する検査です。その種類や量により、尿石症、尿路感染症、腎臓病、尿路系の腫瘍を診断する補助になります。尿石症にはX線等による画像検査が欠かせませんが、尿沈渣を分析することで、より詳細な情報を得ることができます。一般に他の尿検査と併せて実施します。



シュウ酸カルシウム結晶



ストルバイト結晶

尿はどうやってとるの？

- 病院で尿を採取する場合や、家で採取して持参する場合があります。
尿の採取方法にもいろいろあるので、獣医師の先生にご相談ください。

尿石症と診断されたら？

- 結石の種類や重症度によって異なりますが、
結石を溶かすための食事療法が一般的です。
尿路を閉塞するような大きな結石の場合は
外科的に取り除くこともあります。
細菌感染がある場合は、抗生物質による
治療もおこないます。



尿石症ってどんな病気？

- 腎臓、尿管、膀胱または尿道に結石ができるもので、比較的よく見られる疾患です。
- 年齢、性別にかかわらず発生します。
- 血尿や頻尿、排尿時に痛がる、排尿困難などの症状で気づくこともありますが、症状がなく検査で発見されることもあります。
- よくみられるのはシュウ酸カルシウム結石とストルバイト（リン酸アンモマグネシウム）結石で、原因は食事の内容、肥満、遺伝的素因、尿路の細菌感染などが考えられます。
- 重度になると、排尿が困難だけでなく、結石が尿路に閉塞し急性腎障害の原因となることがあるため、適切な治療が必要です。